

特集

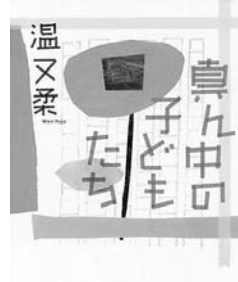
町政あんない

情報コーナー

まなびすと

キラリ健康ナビ

わいわいプラザ



真ん中の子どもたち

台湾人の母と日本人の父の間... 温又柔著 (集英社)



夫の定年

男も女も真の意味で「幸せな定年後」... 佐藤ゆかり著 (ミネルヴァ書房)



児童書 まねきねこだ!!

たくさんのまねきねこが、パラシュートを背負って空から降ってきた... 高島那生 (好学社)

9/7 読書クラブ おひさまのおはなし会

読書クラブおひさまの皆さんによる紙人形劇や手遊びを行います。...

9/16 ゆめっ子のおはなし会

午後1時30分～ ところ 社会教育センター幼児遊戯室...

問合せ いずれも、社会教育センター図書室 ☎28・5449

豊山俳句クラブ

青山克己選

- 草々の青き匂ひや早り道 坪井径子
下駄音もまじりし梅雨の待ち合い所 青山とも子
手のひらに一休みする螢かな 水野眞弓
半円径に雨の香港きらめけり 谷崎 琴
涼求め遊ぶ雀の水しぶき 平手英信
大夕立真っ只中に一軒家 岡島 齋
またいつか赤いカンナの咲く家に 高木須磨子
わだかまり残したままに梅雨に入る 田村多喜子
梔子の匂ひに顔を近づけり 坪井昭子
約束を果たせぬままに夏帽子 杉浦みどり
川音や風に群れ立つ半夏かな 小塚美枝
夕螢橋のたもとの待ちぼうけ 石黒貴代子
日が暮れてしまへばそこは暮の闇 青山克己

豊山歌壇

水野笑子選

- 花終へて若葉光れる桜木の梢に赤き小さき実ゆるる 佐藤良子
定年とて婿の初めて作りたるキウリ、ナス厨房にありて感謝す 柴田満枝
さ庭辺も萌黄の色が満ち満ちて我が暮しにもゆとり感じぬ 鈴木久子
枯木かと思えてるし枝に若葉萌ゆ 鈴木弘香
卯の花咲きて夏は来にけり 鈴木弘香
杜若守るを語る老人の真夏の葎刈り住民の力と 中澤芳子
渡来人が聞きしときく味鏡の地 その「鏡」の字に由来を遺す 水谷弘子
常づねに死をば心の片隅にそおつと置けは老いへのけぢめ 水野勝代
今年また庭に蛙の声を聴く田のある暮らしに恵まる心地す 山田 米
病院へと見舞に行けば病人の友は老いたる我を気遣ふ 渡辺トヨ子
安城も溜め池頼りに米作の時代もありしと聞き及ぶなり 荒川昌枝

編集後記

後藤はつのは、七十三歳から絵画を始めた。九十六歳にして、現代童画展で文部大臣賞を受賞されている。百十一歳のときには著書も上梓するほどのお元気さだった。...